

令和2年度 事業実施計画書（モデル的事业）

団体名：丹生川まちづくり協議会

1. モデル的事业名	若者参画促進事業
2. 事業名	丹生川まちづくり青年部活動事業
3. 目的	若者が地域活動に参画する仕組みをつくり、地域活動に参画する若者が少ない、若者の意見がまちづくりに反映されていない、地域の問題に関心を持つ若者が少ない、地域活動に閉塞感が生じ始めた等の課題の解決を図る。
4. 事業内容	<p>各地区公民館からの推薦者と公募により「丹生川まちづくり青年部」を設置し、地域で活躍する人材育成および継続的に地域に活力を生む取り組みの実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度提案事業の実践（マルシェ・フリーマーケット事業）</li> <li>・事業の継続（郷土学習推進事業など）</li> <li>・若者の視点に立った地域課題の発掘</li> <li>・課題の解決に向けた方策を学ぶ講座や研修の実施</li> <li>・事業の検証、研修等の結果を踏まえた事業の企画・立案</li> <li>・まち協本部への事業提案 等</li> </ul>
5. 効果見込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への関心が高まり、意欲的に地域行事に取り組むようになる</li> <li>・青年部の活動を通して、若者同士のつながりができることで新たなまちおこし活動の創出や他団体との連携が期待できる</li> <li>・青年部の第1期生、第2期生と世代をまたぎながら若者がまちづくりに参加することで継続的に青年部活動事業が展開できる</li> </ul>

令和2年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
毎月1回	定例会議	4月：今年度事業の確認 5月：事業の推進、意見交換等 10月：事業の実践 12月：研修会及び事業の振り返り 1月：次年度事業計画の企画、立案 2月：次年度事業の計画 3月：活動報告会及び次年度事業の提案	
秋頃	マルシェ・フリーマーケット	ハンドメイド作品を製作している方などを対象に出店者募集をし、高山市内へPRする。	
秋頃	丹生川の未来を語る若者の会	丹生川の若者が一堂に会し、地域の課題解決に向けて話し合う機会をつくる。	
1月10日	新成人アンケート調査	20歳を迎えた若者が丹生川地域のことをどのように考え、将来丹生川とどのように関わっていきたいかをアンケート調査を行う。	
冬頃	かるた大会の開催	前年度製作した「令和版にゆうかわかるた」を用いてかるた大会を開催。	
2月～3月	活動報告会	まちづくり協議会の役員等を対象に活動報告会を実施するとともに、次年度の活動について提案する。	
適宜	Facebook での情報発信	各地域で行われる行事や地域の魅力、まち協活動など SNS を用いて情報発信する。	

令和2年度 丹生川まちづくり協議会 収支予算書 (モデル的事業)  
丹生川まちづくり青年部活動事業

【収 入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	770,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
自主財源	30,000	丹生川まちづくり青年部活動事業費
合 計	800,000	

【支 出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
事業費	800,000	770,000	
報償費	430,000	430,000	講師謝礼、委員報酬
旅費	20,000	20,000	講師旅費
需用費	260,000	230,000	消耗品費、印刷製本費、物品購入費等
役務費	30,000	30,000	通信運搬費、手数料、広告料等
使用料及び賃借料	30,000	30,000	使用料等
委託料	30,000	30,000	委託料
合 計	800,000	770,000	